

## 年末年始は加西の酒で乾杯を



加西の酒・料理で乾杯をイメージしたポスター

加西市は平成26年4月1日に、「加西の酒で乾杯を推進する条例」を施行し、初めての新酒の季節を迎えました。高級日本酒の原料となる山田錦をはじめとする酒米の市内作付面積は、今年度394haで昨年度比34%拡大、市内の水稻面積の20%を占めるほどになり、また品質も向上しました。全国の酒蔵に「至高の日本酒を生み出す最高の原料 兵庫県産山田錦」として出荷されています。

今年の忘年会・新年会、お正月は加西の酒で乾杯し、ふるさと加西を盛り上げていきましょう。

今回、「加西の酒」の消費拡大を図るため、北条鉄道網引駅のボランティア駅長・妻木敏彦さん（神戸市）作の切り絵を和紙に印刷したランチョンマットを作成しました。五百羅漢や法華山一乗寺、農産物などが描かれています。

ランチョンマットは、加西の酒を提供する飲食店に配布します。ふるさと加西を思い浮かべ、お酒をお楽しみください。

また、加西ブランド協議会（加西市・加西商工会議所・JA兵庫みらい）は、加西の酒を提供する飲食店や酒店に貼っていただくポスターを2種類（A2サイズ）作成しました。加西の酒と料理での乾杯をイメージした「グラスで乾杯バージョン」と農村風景をベースにした「加西の風景バージョン」があります。

加西の酒で乾杯の推進に賛同していただける酒販店や飲食店、その他商店においては、ランチョンマット設置とポスターの貼り出しにご協力をお願いします。

※加西の酒を提供する飲食店や加西産農産物を原料とする加西の酒の種類については、お問い合わせください。



ランチョンマットは桃色（単色）の1種類です。カラーは掲示用です。

### ■加西の酒「RAKAN（らかん）2014」も発売

加西ブランド協議会は、加西が誇る特産品「加西ゴールデンベリーA」を100%使用したロゼワイン「RAKAN」を12月から販売します。フレッシュでフルーティな味わいは、女性やお酒の弱い方でも飲みやすいと好評です。クリスマスディナーやパーティーにぴったりの「RAKAN」をぜひご賞味ください。

販売予定価格／1,300円（税抜）

容量／500ml

アルコール度数／11%

販売店／市内酒販店、かさい愛菜館、いこいの村はりま、コープ加西、イオンモール加西北条など



【問合せ先】 農政課（農政係） ☎④8741 FAX④1802 nosei@city.kasai.lg.jp

## 秋の叙勲

平成26年秋の叙勲が11月3日付けで発令され、加西市では竹内正己さんが受章されました。

### 危険業務従事者叙勲

消防士、警察官など危険性の高い業務に精励した方に対する叙勲です。

### ■瑞宝双光章（消防功労）

竹内正己さん（64）大内町 元加西市消防司令長

昭和45年から加西市消防本部に40年間勤務。平成17年4月からは消防長を5年間務められました。現在は区長として地域に貢献されています。

「電話対応や現場では、常に相手の目線に立ち、何を求められているのかを考え、迅速な対応ができるよう心がけていた。同僚や地域の消防団のおかげで受章することができました。今後も地域に貢献していきたい」と話されました。



## ブラジルの2市と民間交流すすむ

加西市が国際交流事業を委託する「NPO 法人ねひめカレッジ」が11月10日、播磨農業高校の生徒4人を「かさいフレンドシップ大使」として任命しました。

生徒4人は、県の「若手地域農業リーダー育成研修事業」を利用して11月14日から29日の間、ブラジルで農業体験などをしました。

その際、同法人の大使として、マリンガ市の文化体育協会とクリチバ市の日伯文化援護協会の2市の団体と民間交流をしました。今後、地域情報の相互発信や文化交流などを促進し市民交流につなげていきます。



左から佐藤敦志さん（1年・南あわじ市）、菅田健作さん（2年・青野町）、松本正光理事長（ねひめカレッジ）、岡本悠吾さん（2年・明石市）、中川英也さん（2年・姫路市）

【問合せ】 ねひめカレッジ（加西市国際交流協会） ☎080-4705-7122 nehime@kasai-kokusai.info

## 北条高校生がオリジナルのパスタ料理を開発

北条高校で地域の発展に向けた取り組みを企画・実行しているふるさと創造部員17人が、加西産の「トウガラシ（根日女みどり）」「タマネギ」「シメジ」などを使った3種類のパスタ料理を考案。11月1日にフラワーセンターで行われた「じば産物産展」で150食を販売し、完売しました。

生徒らは10月27日に、加西市出身の小谷聡一郎さんが経営するイタリアンレストラン「Ciro（チーロ）」（明石市）を訪問し、パスタ料理のコツや出店ノウハウを学びました。今後、市内のイベントなどでも販売を予定しています。

加西市は、若者主役計画の若者チャレンジ助成事業により、活動費を一部助成。Ciroとの全体調整や送迎なども行い、北条高校をサポートしました。



じば産物産展でオリジナルのパスタ料理を販売する北条高校生

【問合せ】 ふるさと創造課（市民参画係） ☎④8706 FAX③1800 furuso@city.kasai.lg.jp

## 難聴者の会話サポート機器「コミュニケーション」を貸し出します



西村和平市長（左）と五百藏さん

加西市出身の五百藏伸祐さん（ユニバーサル・サウンドデザイン株式会社取締役）が10月29日、加西市の若者応援施策に共感し、若者と難聴者を繋ぐコミュニケーションに役立てばと会社が開発したコミュニケーションを市に寄贈されました。

コミュニケーションは補聴器を使わずに難聴者の聞き取りを改善する会話支援機器です。九州大学大学院医学研究院により、コミュニケーションが病院外来診療時の難聴患者とのコミュニケーションに有用であると「第115回日本耳鼻咽喉科学会総会・学術講演会」で報告されています。

### ■コミュニケーションの貸出

対象／市民、市内の団体

利用目的／①難聴者の日常生活や学校、職場での使用 ②会議やワークショップ

料金／無料

貸出期間／7日以内

申込／貸し出し状況を確認後（ふるさと創造課）、申請書（市ホームページ）をFAXかメールで申し込みください。

【問合せ】 ふるさと創造課（市民参画係） ☎④8706 FAX③1800 furuso@city.kasai.lg.jp